

延島っす



延島小学校長 田村芳広

朝の登校を見て、「あれ？人数が少ないな。」と思いましたが、6年生がいなかったことに気づき、卒業してしまったことを実感しました。南門から公民館までの間に一人たち、筑波山をはじめ周りの風景を見て、登校の時に子どもたちを待ちながら、このような風景を見られる学校はないかと改めて思いました。すると、突然、校舎の2階、4年教室から、何人もの子どもたちが、「おはようございま～す。」と大きな声であいさつをしてくれました。こんなことも、他校ではないことで、これが最後だなと思いながら、できる限りの大きな声であいさつを返しました。

歴史館に展示



『お別れ式』で作成した『思いを文字に』の席書を現絹中の歴史館に展示しました。男性職員だけでつるすはずでしたが、自然と女性職員も皆来ました。延島小の体育館においてあったときにはいつでも見ることはできますが、歴史館に展示してしまうと、もう、見ることはできないかなと、見納めの意味で職員が集めたようです。そう考えると、何となく寂しさもあります。歴史館の窓側に設置しましたが、狭い歴史館ですので、ステージにつるしたようには見ることはできません。それでも、延島のあしあとして展示できたことはよかったと思っています。延島の子どもたちが絹義務教育学校で新たなスタートを切り、ふと歴史館の前を通ったときに、この席書を見て、いろいろ思い出してくれるといいなと思いました。次年度、本校の職員もばらばらになります。絹義務教育学校で研究会等があったときに、この歴史館を訪れるのを楽しみにしたいと思います。

カウントダウンボード納め式と最後の小学生証と修了式

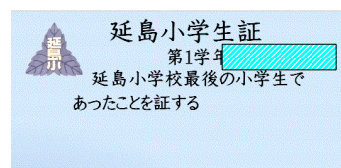
◇系内め式

修了式の前に、カウントダウンボードの納め式を行いました。5月14日の除幕式から、毎日毎日カウントダウンを行い、ついにあと1にちとなっていました。そういえば差し替える数字も子どもたちの手作りで作ったのだと改めて思いました。ボードには、子どもたちが自分たちで自分の似顔絵を書いたものが添付してあります。納め式では、この似顔絵を自分たちではずしました。そして、数字を0にして、白布の幕をかけて終わりとなりました。



◇最後の『延島小学生証』

カウントダウンボードに添付した似顔絵を記念としておけるように、『延島小学生証』というものを作りました。延島小学校の最後の小学生だったという証となるものです。その真ん中に似顔絵を添付して、子どもたちに『学びのすがた(修了証)』と一緒に渡しました。



◇修了式

職員の希望で、47人(卒業生以外)全員に一人ひとり『学びの姿(修了証)』を手渡ししました。卒業式と同じに一人一人に「頑張ったね」と言葉をかけて、渡しました。卒業式で立派にできた6年生を見ているので、1～5年生も全員緊張しながら上手にできました。

自学ノート がんばり

最終を23日としました。23日までで、207のがんばり賞を発行しました。8冊目まで終了した子もいました。それぞれ、自分たちで頑張った証となり、充実感を持ってもらいたいです。そして、絹義務教育学校に行っても、継続して自主学習を続けてほしいです。頑張れ！延島の子！！

1年	〇〇〇〇	さん	〇〇〇〇	さん	2年	〇〇〇〇	さん	〇〇〇〇	さん
3年	〇〇〇〇	さん	〇〇〇〇	さん	4年	〇〇〇〇	さん		
5年	〇〇〇〇	さん	〇〇〇〇	さん					

絹義務への準備

いよいよ絹義務教育学校の開校です。今の延島小学校の生活の中でも、絹義務教育学校への繋ぎを行っています。その一つが、清掃です。清掃の始めと終わりをきちんと体育座りをして待つことをこの3学期にはじめました。子どもたちには十分身に付いて、姿勢良く、静かに始まりを待つことができます。



これで最後です

ついに最後の『延島っ子』になってしまいました。もっともっと学校での子どもたちの頑張りをお知らせしたかったのですが、残念ながら、これで最後です。

23日に、ある学級によばれました。一列に子どもたちがイスに座り、一人ひとり、校長に対する言葉を作文用紙1～2枚に書いて読んでくれました。一人目の時から、順番を待っている児童で涙を浮かべる子もいたり、自分の時に泣きながら読んでくれたりしました。子どもたちには校長の思いはどの程度届いたのか図ることはできないことですが、『3つの心』について自分なりに理解したこと、朝会の話から心に残ったことなど、全員が自分の言葉で読んでくれました。感動です。このような学校の職員として関わられたこと、校長として本当に幸せでした。本来、保護者の皆様、地域の皆様、お一人お一人にご挨拶に伺い、延島小学校の教育を支えてくださったことのお礼を言わなければならないのですが、紙面で申し訳ありません。また、この最終号は地域回覧にのせられませんので、保護者の皆様から、ご近所の地域の皆様へお伝えいただければ幸いです。

私は、延島小の子どもたちの笑顔が大好きでした。子どもたちが笑顔になるためなら、どんな大変なことでもつらさなど感じずに取り組むことができました。延島小の子どもたちから大きな力をいつももらっていました。いつまでもこの子どもたちとともに毎日を過ごしていきたいと思っていました。しかし、ついに最後の1日となってしまいましたので、カウントダウンボードを閉じると同時に、私の延島小学校での校長としての役目も閉じます。延島小学校に関係するすべての方に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

